

海外安全対策情報  
(平成29年度第一四半期)

在エチオピア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

当地は、反政府運動の激化を原因とした国家非常事態宣言が2016年10月から継続中(2017年6月末現在)であり、観光地であるアムハラ州ゴンダール市やバハルダール市においても、今年に入り複数件の爆弾事件が発生している。

アル・シャバーブによるテロへの脅威に対して、政府は引き続き強い警戒を維持している。また、これに加え、市民の抗議活動に対して連邦警察が警戒にあたるなど、反政府運動への警戒レベルも継続して強化されている。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

(1) 強盗事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内において強盗事件が発生している。早朝及び夜間に徒歩で移動している際に、背後から首をしめられ、抵抗できない状態に追いやられ、携帯電話や財布を強取される手口が認められる。

(2) 窃盗事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内においてスリが増加している。犯行手口の一例としては、複数の少年が歩行者に近づき、雑誌を売る素振りや、服に唾をかける、腕をつかむ等して一人が気を引いている間に、他の少年が歩行者のポケットから携帯電話機や財布を窃取する手口が認められる。

(3) ぼったくり事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内において、ぼったくり被害が発生している。旅行者が滞在ホテル周辺を徒歩で移動していると、エチオピア人が「自分はこのホテルの関係者だが、いい飲食店を教えようか。」と近づき、「ホテルの関係者」と言われて安心し、勧められた飲食店に入って注文すると、高額の支払いを請求される手口が認められる。

3. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害の届け出はない。

(2) 強盗等

2017年4月、アディスアベバ市において、邦人1名が夜中に徒歩で自宅に帰宅途中のところ、突然背後から1名の男が上腕を被害者の首に回して絞め上げ、抵抗できない状況にした上で、もう1名の男が、現金、財布、携帯電話、ノートパソコンを強取する事案が発生した。

4. テロ・爆弾事件発生状況

4月1日以降の発生状況は次のとおり。

(1) 4月1日

ゴンダール市のホテルにおける爆弾事件

(2) 4月18日

ゴンダール市のタクシー乗り場における爆弾事件

(3) 4月24日

ゴンダール市のロッジにおける爆弾事件

(4) 4月27日

バハルダール市のガソリンスタンドにおける爆弾事件

(5) 4月29日

バハルダール市のコンサート会場における爆弾事件

(1)～(5)において死傷者が発生した事件もあるが、邦人被害は発生していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

6. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は発生していない。

7. 対日感情

対日感情に係わる問題は認知していない。

8. 日本企業の安全に係わる諸問題

現在、日本人を標的としたテロ行為は確認されていないが、市民の反政府運動や新税制度への抗議活動が国内各地で断続的に発生する可能性があり、これらに巻き込まれた場合、投石による車両破壊や、身体への受傷事故が懸念される。